

# 自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園  
下田中学校便り第2号  
令和4年5月20日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー  
でご覧いただけます。→



## 生徒会スローガン

### 突破 こうどう ～考動が道を切り開く～

本部役員が中心となって生み出したスローガン。注目したいのはサブタイトル内にある“考動”という言葉です。考え、そして動く。老若男女を問わず、私たちは、起きてから寝るまでの10数時間、常に考えて動いています。何を考え、どのように動けばいいのか。例えば、授業の中で、友達付き合いの際に、家族の一員として等々、その時々で正しい判断と適切な行動を目指していきたいものです。



4月末、こんなことがありました。

昼休みの体育館。バスケットボールやバレーボールで元気に体を動かしている人たちがいます。ある瞬間、全員の楽しそうだった表情が一変しました。うわっ！まずい！ヤバい！痛い！大丈夫か？様々な声が聞こえてきそうでした。遊んでいたボールが一人の女子生徒の顔に当たったのです。うずくまり顔を押えて痛がっています。ある友達はそばに寄り添い声をかけています。私の姿を見つけて報告に来る生徒や、職員室に先生を呼びに行く生徒もいます。一方、大丈夫だと判断し遊びを続ける生徒もいます。やがて、ケガをした生徒は友達の判断で保健室へ連れていかれます。ボールを当ててしまった男子生徒は、その姿を見送りながら同行するべきか迷っているようです。「心配？」と私が尋ねると「はい」と。そして「僕も保健室に行っていないですか」と言い、走って体育館から出ていきました。

「適切に考え、適切に行動する」ことを心掛けることは、自分自身の心の成長や良好な人間関係づくりにきっと生かされると思います。



生徒総会で質問する生徒

### 今年度の生徒総会

質問に立った生徒全員が、委員長や部長の回答に対して、アドリブで追加質問や提言をしました。委員長や部長も言われたことに対し適切に応答しようとしています。

話を聴いて理解し、次に発する言葉をその場で考えることは難しいことです。瞬時の判断力をこういった場面でも育てています。

## 下田はすごい！ ～ 全校朝会の話 ～

下田のすごさを知っていますか。まずはその大きさ。今の三条市になる前の旧三条市、栄町、下田村の地図はこの通りです。

次に三条市のウリを見てみます。ここにある三条市を紹介するガイドブック「さんキッス」の最初のページには、三条市を紹介する3つのキャッチフレーズがあります。“ものづくりのまち” “多彩なイベント”そして“豊かな自然”です。

この“豊かな自然”の所にあるのは下田の写真です。さらにページをめくると“ただ郷の自然を満喫しよう”というタイトルで下田の写真が掲載されています。1つずつ読み上げてみるので、自分が知っているものを指折り数えてみてください。“景勝八木ヶ鼻”“中浦ヒメサユリ森林公園”“秘境八十里越”“大谷地和紙”・・・さらにページを進めるとおみやげ&特産品のページが出てきます。約半数が下田のものです。下田の価値を理解できましたか。三条市のPRには下田は欠かせない存在なのです。

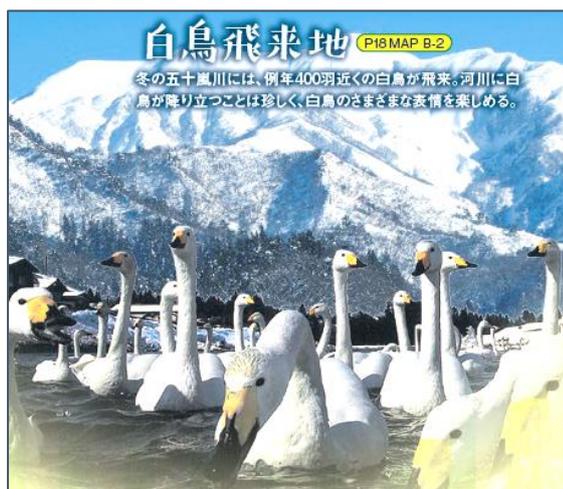


写真:三条市公式観光サイト「SANJONAVI」内「三条おでかけガイドブック(さんキッス)」  
\*三条市経済部営業戦略室から掲載の許可を得ています。

そんな誇れる下田のことを、将来みなさんが誰かに紹介する場面があります。高校進学後、あるいは大人になってから幾度となく下田のことを尋ねられるでしょう。そのとき、サラッと下田のことを紹介できるとカッコいいと思いませんか。皆さんが説明した後、相手に「下田ってすごいね」と言わせてください。

今年度も自慢の下田を学ぶ活動「ふるさと学習」がスタートします。興味があるもの、追究したいことの学びを深めてください。11月の発表会を楽しみにしています。

## クマ出没に警戒！ ～命を守る対策を～

クマの出没に関するメールが連日のように届いていることと思います。被害に遭わないために一人一人ができる取組について改めて御確認ください。

お子さんの通学カバンにはクマ鈴がついていて音が出ることを確認してください。

クマ鈴の破損や紛失の場合にはご家庭で購入願います。5月9日時点で未装用だった19名の生徒（全校生徒の10%）には、一時的に学校から貸し出しています。

家周辺でのクマ出没場所や登下校時の安全対策について家族で話し合ってください。

地図上での危険個所の確認、通学路徒歩区間の保護者送迎について確認してください。